



- 二度と白衣を戦場の血で汚さない -

日本医労連憲法平和対策委員会

2013年12月10日発行

かがやけ!!

憲法ニュース No5

安倍政権の暴走許すな!

怒

秘密保護法は廃止に!

12月6日、安倍政権と自民・公明両党は、多くの国民の反対の声を無視し秘密保護法案を強行採決によって成立させました。日本医労連はこれまで街頭宣伝や国会周辺行動や集会などに積極的に参加してきました。12月2日には、「憲法違反の秘密保護法案反対」の2回目の宣伝行動を行いました。秘密保護法案が参議院で審議中だったこともあり、多くの通行人がチラシを受け取り、署名や秘密保護法案についてシール投票に協力してくれました。



秘密保護法案に賛成・反対・よくわからない・のシール投票には「よくわかんないし、ほんと不安だよね・・・」とつぶやきながら「反対」にシールを張る人が数名いました。秘密保護法は、国民の目と耳と口をふさぎ、基本的人権と民主主義を破壊するものです。さらに今回の強行採決は、国会のルールも踏みにじり、議会制民主主義を破壊し、憲法を蹂躪した暴挙というほかありません。この民主主義の暴挙に多くの著名人や文化人も反対の意思を表明し、そして多くの国民が立ち上がり連日の抗議行動を含め歴史的な運動が広がりました。また前日の5日社会保障のプログラム法案を可決成立させた安倍政権。消費税の増税、原発の再稼働、TPP参加、はたらくルールの大改悪、社会保障制度の解体など、国民の願いを踏みにじる安倍政権の暴走にストップをかけましょう。引き続き、「秘密保護法は廃止に！」怒りの声を挙げ、すべての国民の皆さんと一緒に安倍政権を包囲し運動を広げ悪法の発動を阻止し、憲法かがやく社会をめざしましょう。

日本医労連は『二度と白衣を戦場の血で汚さない』決意のもと「いのち暮らしを脅かす戦争反対!」「憲法をいかしてくらし・雇用・平和を守れ!」の声を広げていきましょう。日本医労連が独自で作成した憲法リーフやDVDを活用し、職場学習を強化し、3年間にわたって取り組む全労連の「輝け! 憲法署名」を進めましょう。

憲法DVD一枚1,500円(10分25秒)⇒

